

防災SP養成eラーニング

■ 防災SP養成eラーニングの目的

災害時に活動する応援職員等が、現地で従事する業務について標準化された業務手順(Standard Operating Procedure)を短時間で学ぶことにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る。

■ 対象テーマ

防災基本計画を踏まえ、災害時に多くの応援職員等が即戦力として活躍することが期待される下記の業務を当面のテーマとする。

- ・ 避難所開設・運営 (済)
- ・ 避難情報の判断・伝達(済)
- ・ 災害廃棄物処理
- ・ 住家被害認定調査・罹災証明書交付 (済)
- ・ 要配慮者への支援
- ・ 防疫・遺体処理

防災SP養成eラーニング：新規コンテンツ作成状況

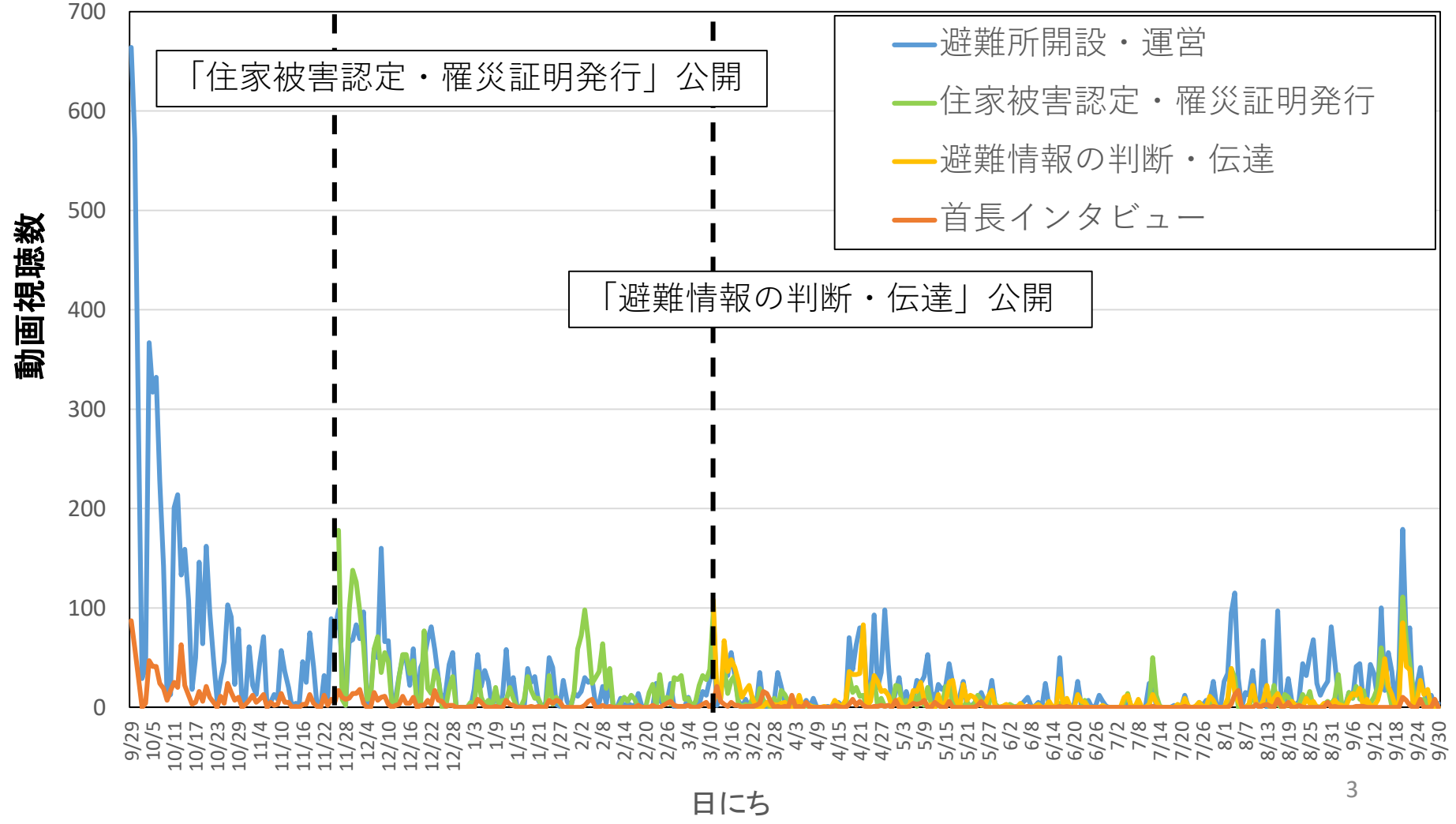
- WGを適宜開催しながら新規コンテンツを作成中
- WBS及びPPTのたたき台が完成し次第、関係機関へ照会

	要配慮者への支援	災害廃棄物処理	防疫・遺体処理
コーディネーター	鍵屋一委員 (跡見学園女子大学)	平山修久先生 (名古屋大学)	山本晋吾先生 (兵庫県)
WGメンバー	<ul style="list-style-type: none"> • 田村圭子委員 (新潟大学) • 内閣府防災 	<ul style="list-style-type: none"> • 田村圭子委員 (新潟大学) • 内閣府防災 	<ul style="list-style-type: none"> • 田村圭子委員 (新潟大学) • 内閣府防災
WG開催状況	<ul style="list-style-type: none"> • 第0回(6/15) • 第一回(9/10) • 第二回(9/29) 	<ul style="list-style-type: none"> • 第0回(6/15) • 第一回(6/21) 	<ul style="list-style-type: none"> • 第0回(6/15) • 第一回(7/21) • 第二回(8/10) • 第三回(9/10)
作成状況	<ul style="list-style-type: none"> • WBS作成(9月中) • PPTたたき台(10/31) • 関係省庁照会(11～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> • 環境省等へ照会中 • その他、地方自治体へ照会予定(10月中) 	<ul style="list-style-type: none"> • WBS作成(10月中) • PPTたたき台(11/15) • 関係省庁照会(11～12月)
公開目途	<ul style="list-style-type: none"> • 1月中 • 適宜、検討委員会のメール審議で承認 	<ul style="list-style-type: none"> • 11月中 • 適宜、検討委員会のメール審議で承認 	<ul style="list-style-type: none"> • 1月中 • 適宜、検討委員会のメール審議で承認

防災SP養成eラーニング：視聴状況

総視聴数（9月30日18時時点）：避難所開設 11,708回、住家被害 4,099回、避難情報 1,845回、首長インタビュー 1,414回、総計 19,066回

「避難所開設・運営」
「首長インタビュー」公開



防災SP養成eラーニング：視聴方法の検討

課題

- 学習をモニタリングする方法
- 現状のID/PWの仕組みで災害時に機能するのか
- 防災部署以外の部署の職員は視聴しているのか

課題解決のためのご提案

平時：

- 事前配布済みのID/PWを用いてログインする仕組みはどうか
- ID/PWを用いて、平時の学習の様子をモニターしてはどうか
- ログイン時に**職位・部署を入力**する仕組みはどうか

災害時：

- 発災後、期間を定めて、**自由閲覧可能**にしてはどうか
- 自由閲覧可能のきっかけは**災害救助法**適用等を一つの目安としてはどうか
- 自由閲覧可能期間はコンテンツ毎に設定してはどうか
- ISUTと連携してはどうか(ISUTサイトへのリンク貼り付け、等)

防災SP養成eラーニング：周知方法の検討

課題

- 地方自治体での認知度を高める必要がある
- 地方自治体の内、30%(=529/1794)程度が視聴経験あり
- 都道府県によっては、視聴経験有の市町村が10%に満たない

課題解決のためのご提案

定期的な宣伝：

- 内閣府防災から地方自治体への通知文に、**時期に応じて宣伝を織り込んで**はどうか
例：地方訓練担当からは年に約20通の通知文を发出
- 災害時だけでなく、災害対応終了後にも宣伝してはどうか

プロモーション方法：

- 当eラーニングの使い方や作成の意図をまとめた**動画を作成**し、周知してはどうか
- 使い方の講習会を開催してはどうか

視聴の呼びかけ：

- 視聴経験がある市町村が少ない都道府県に対して、直接呼びかけてはどうか

防災SP養成eラーニング：コンテンツ見直しの仕組み

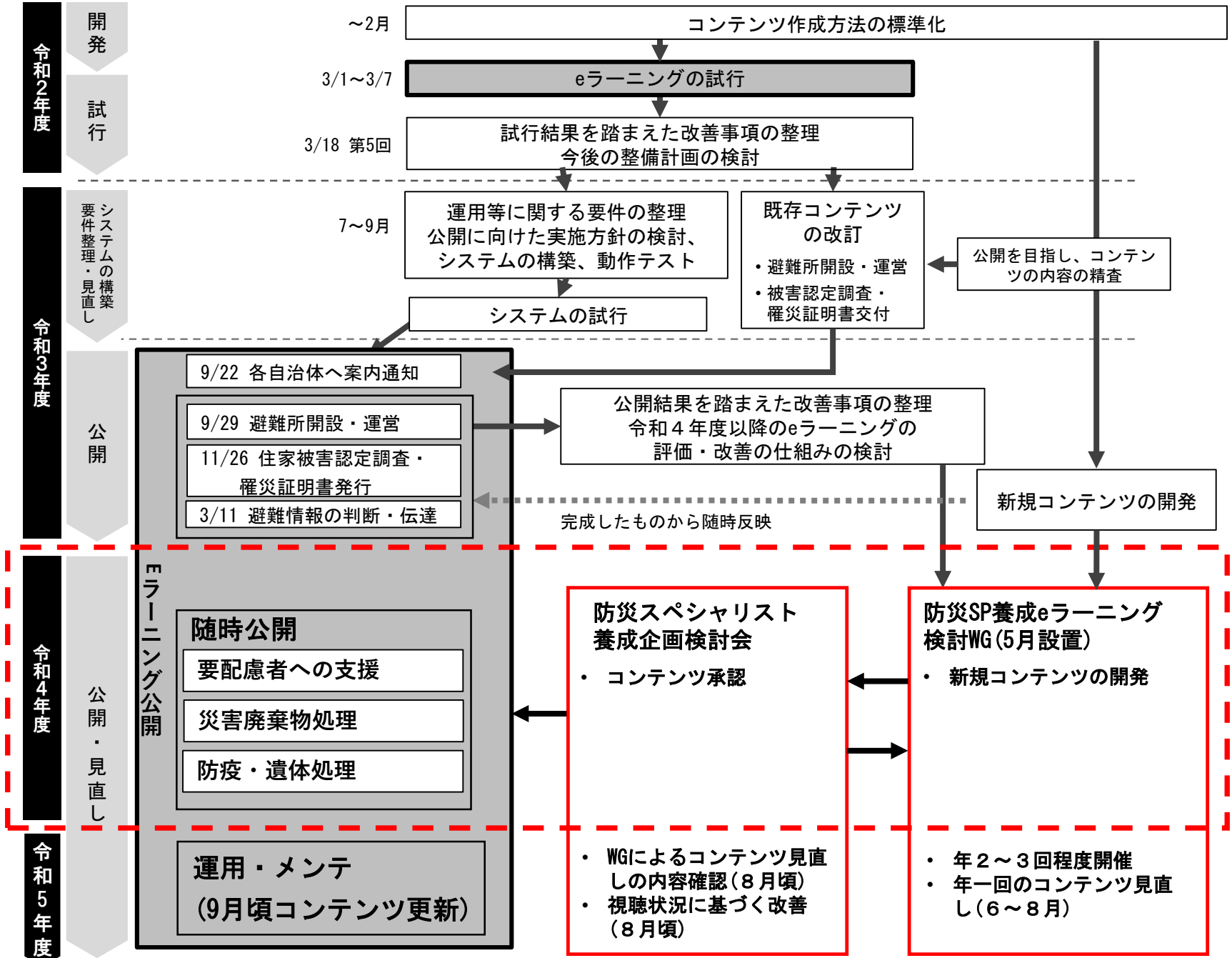
課題

コンテンツ見直しの仕組みの構築

以下の流れでコンテンツを見直してはどうか

1. 毎年5月頃に実施される中央防災会議の結果を受け、コンテンツの大幅な見直しを実施するか否かを決定する。
2. 法律やガイドラインの変更が些細な場合は、変更ポイントを説明する補足動画を作成、早期に公開する。
3. 1を受けたコンテンツの大幅見直しは年内を目途に実施し、2月頃に更新版を公開する。
4. 実災害からのフィードバック、5月以降のガイドライン等変更に対するコンテンツ更新は、各々のテーマ毎に柔軟に行う。

今後の防災スペシャリスト養成eラーニングの整備計画



公開結果を踏まえた改善事項の整理
令和4年度以降のeラーニングの
評価・改善の仕組みの検討

新規コンテンツの開発

完成したものをから随時反映

防災スペシャリスト養成企画検討会

- ・コンテンツ承認

- ・WGによるコンテンツ見直しの内容確認(8月頃)
- ・視聴状況に基づく改善(8月頃)

防災SP養成eラーニング検討WG(5月設置)

- ・新規コンテンツの開発

- ・年2~3回程度開催
- ・年一回のコンテンツ見直し(6~8月)